第４４回全日本ジュニアバドミントン選手権大会神奈川県予選大会

参加細則（諸連絡）

監督者打合せは行いません。必ず本参加細則をよくお読みの上参加してください。

●競技・審判上の連絡

1. 本大会は現行の（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規定、後任審判員規定並びに神奈川県中体連バドミントン専門部作成ハンドブック、および県専門部の申し合わせ事項に準拠し運営する。
2. ２１ポイント３ゲームマッチ（最大得点 30 点）で勝敗を決する。
3. 主審の指示により試合前に３分以内の練習を認める。（シングルス対戦相手と行う。ダブルスはパートナーと行う。）
4. 審判について、主審、得点板は敗者審で行い、自分が負けたコートにコールされた試合の審判を行う。お互いに線審を１名ずつ出し合って行うものとする。
5. 試合は通常流し込みで行うが、１段目の試合は指定されたコートで行う。また、準々決勝からは使用しないコートも出てくるため、どこの審判を担当するかは本部から連絡を行うものとする。
6. 棄権などにより審判が足りなくなった場合は審判の補助を進行から依頼する可能性がある。
7. 応援は拍手と声を基調とするものとする。（鳴り物の使用、足を踏みならす行為等は禁止する。また試合進行上応援の仕方で運営に支障をきたす場合は運営より注意する場合がある）
8. 選手は自身の体調管理を行い、指導者は体調不良の選手がいないかどうか確認を行い、体調が悪い場合には試合に出場させるかどうかの最終判断を行う。
9. ブロックごとの座席指定はしない。選手が座れないなどがないように配慮を行うこと。
10. 応援席の１列目は転落の危険があるため着席での応援をすること。また、持ち物がアリーナに落下することがないように気を付けること。
11. 食事は観客席でとるようにし、エントランスやその他のスペースでは行わないこと。
12. ベスト４まで表彰を行う。入賞した選手は本部からの指示で速やかに表彰を行えるようにすること。
13. 試合が終了し、指定の審判が終了し次第帰宅して構わない。

○会場使用上の注意

14. 体育館の内外でシャトルを使用してのアップは禁止する。屋外でラケット使用してアップする際には周囲に十分注意して危険のないように行うこと。

    また、体育館周辺地域の迷惑になるので、屋外での声出しを禁止する。

15. トイレでは必ずスリッパに履き替えて利用すること。

16. ごみは必ず持ち帰りをすること。

17. 忘れ物等に関してはあった場合は専門部で保管する。１週間ほどして何も連絡がなかった場合は廃棄する。

○保護者の応援について

18. 保護者の入場に関しては特に制限を設けないが、選手のプレーの妨げになったり、選手の座席利用ができなかったりすることのないようにする。

19. 競技中の様子をカメラやスマートフォンなので自チームの試合の撮影をすることは構わないが、本大会で撮影した写真や動画を SNS 上に投稿することは厳に慎むこと。

20. 観客席からのコーチングや審判に対しての質問、抗議は一切認められない。違反しているチームついてはフォルトの対象とする。

○その他

21. 男女シングルスの上位 2 名は、令和７年９月１２日～１５日に行われる第 ４４ 回全日本ジュニアバドミントン 選手権大会（北海道・釧路市）への出場資格を得ることとする。また、各種目ベスト 8 以上に進出した選手または選手を擁するチームは関東オープン選手選考会への参加資格を与えられる。後日ホームページ 上でご案内する。

22. 選手は大会当日までに必ず今年度分の協会登録費を納入していること。未払いの場合 には出場することはできない。